

秋田きりたんぼラウンド in 大館

H30. 1. 6
大館市中央公民館

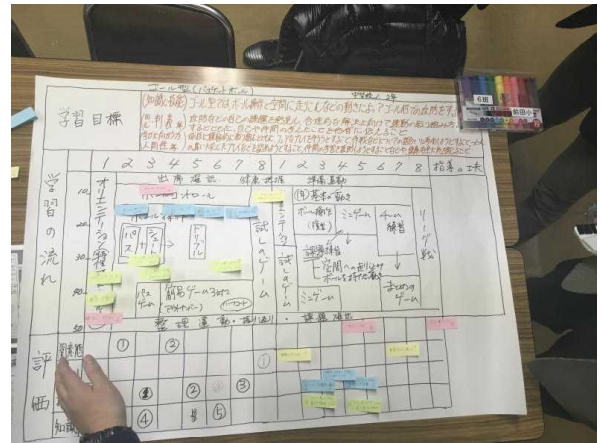
今回で、6回目の秋田県「きりたんぼラウンド」は、岩手県からも御参加をいただき、総勢36名で開催することができました。今回は、初めて秋田市を離れ、県北地区である大館市の開催となりました。東北ラウンドでも県庁所在地を離れて行く、初めてのラウンドとなりました。

県北地区研究会の皆様から、たくさんの御協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。懇親会では、名物「きりたんぼ鍋」とともに、楽しいひとときを過ごすことができました。

1 情報提供 国立教育政策研究所 教育課程調査官 高橋 修一 氏より

学習指導要領の改訂について、講義をいただきました。

今回の改訂と社会の構造的変化、目指す資質や能力、主体的・対話的で深い学び、知識を基盤とした学習の充実等に関する内容をお聞きすることができました。参加者からは、「改訂された部分の理解がまずは大切なのではないか。」「何を学ぶかということについて、もっと意識して指導したい。」という感想が出されていました。



2 ワークショップ「主体的・対話的で深い学び」につながる体育・保健体育学習

ワークショップでは、単元構造図づくりを行いました。来年度、県北地区で開催される秋田県学校体育研究大会の研究領域である「体づくり運動」及び「ボール運動・球技」の領域に合わせて、作成しました。模造紙に枠を記入する担当、指導内容の書き出しをする分担と役割を分担し、円滑に進みました。指導計画の検討は全員で行い、十分に協議できるよう時間配分をしました。指導計画の協議では、「指導内容の効果的な関連」について、話し合いが深まりました。

3 まとめ 桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊 氏より

まとめでは、佐藤豊教授からは、「知識」に関する内容が話されました。知識には、具体値、方法値、概念値があること、「わかる・できる」と通常呼ばれていることは、技能の知識（具体値）に関する場合が多いこと、球技（ゴール型）の概念値を具体的に示しながら、解説いただきました。

また、新学習指導要領の基づく簡易単元構造図作成においても貴重なお話を聞くことができました。「資質・能力の育成と主体的・対話的で深い学びの実現」について、さらなる理解につながりました。

お忙しい中、佐藤豊教授、高橋調査官に御参加いただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

体育学習における指導内容とアクティブ・ラーニングのイメージ
(*小学校では、思考・判断に知識が含まれている。)

